

平成 27 年 6 月 2 日
内閣衛星情報センター

民間競争入札実施事業
画像分析官の教育訓練（初級・中級）の委嘱の実施状況について
（平成 25 年度・平成 26 年度）

I 事業の概略

1. 委託業務内容

我が国の安全保障及び危機管理への対応の観点から衛星画像の判読・分析業務を行う内閣衛星情報センター職員（以下、「画像分析官」という。）を対象に実施する教育訓練。

実務未経験者に対する「初級教育訓練」と、1年から1年半の実務経験を有する初級画像分析官に対する「中級教育訓練」がその内容となっている。

2. 業務委嘱期間（契約期間）

平成 25 年 5 月 15 日～平成 28 年 3 月 11 日（2 年 10 ヶ月）

3. 受託事業者

一般財団法人リモートセンシング技術センター

4. 受託事業者決定の経緯

入札参加者 2 者から提出された提案企画書について評価を実施し、いずれも必須項目を満たしており合格との判断に至った。平成 25 年 3 月 1 日に開札し、総合評価を行った結果、総合評価点が他の事業者を上回った上記 3 の事業者が落札者となった。

II 確保すべきサービスの質の達成状況及び評価

1. 確保すべきサービスの質の達成状況

(1) 実施状況について

各回の教育訓練実施後に、教育内容等に関する受講者からのアンケート調査及び教育訓練による到達目標達成状況について受講者に対し実施する評価を実施し、前者については肯定的回答が 75%以上、後者については受講者の上位 80%に相当する受講者各人の得点が一定水準（初級教育：知識 75%、判読能力 65%、中級教育：応用判読能力 65%）以上を満たすものとする。

(2) 集 計

確保されるべきサービスの質	水 準	平成 25 年度	平成 26 年度
実施期間に対する実施内容の分量等が適当であること	「適当である」等の肯定的回答 75%以上 (年度毎)	適 78.5%	適 85.7%
受講者にとり、教育訓練内容が所定の到達目標の達成に有意義であること	「有意義である」「適当である」等の肯定的回答 75%以上 (年度毎)	適 93.0%	適 97.5%
〔初級教育訓練〕 受講者の知識・判読能力が到達目標に達していること	受講者の上位 80%に相当する受講者各人の得点 知識 75%以上 (年度毎)	適 全員 75%以上 得点	適 全員 75%以上 得点
	受講者の上位 80%に相当する受講者各人の得点 判読能力 65%以上 (年度毎)	適 全員 65%以上 得点	適 全員 65%以上 得点
〔中級教育訓練〕 受講者の判読能力が到達目標に達していること	受講者の上位 80%に相当する受講者各人の得点 65%以上 (年度毎)	適 全員 65%以上 得点	適 全員 65%以上 得点

(※別紙 1、2 参照)

サービスの質の確保として予め設定していたものについては、すべて達成していると評価できる。

2. 業務の実施状況

(1) 履行状況

衛星画像の判読に必要な基礎的な能力を習得させる教育訓練の目的を達成するため、到達目標（①画像からの情報抽出・識別、②画像情報の特性及び画像情報活動の理解、③必要な施設等に関する基礎的知識の獲得）に即した教育内容で計画どおりに実施された。

(2) 民間事業者の創意工夫による改善事項

ア 教育内容及び教育に使用する教材について、軍事、インフラ、大量破壊兵器等に関する最新の動向を紹介し、教育の中に最近の世界での事象を結びつけて関心を持たせ、分析・判読の早期習得に役立てる等積極的に改善策を取り込むとともに、新しい画像を使用するなど、被教育者の実用的な知識・技能の向上達成に努力しており、評価できる。

イ 25年度からは初級教育において再委託先である海外から経験豊富な講師を招き、軍事知識等に係る基礎的事項、判読業務及び判読技法に係る基礎的事項等、より実践的な内容で教育を行っており、評価できる。

III 実施経費の状況及び評価

1. 経費

(1) 従来の実施経費

平成24年度（実績額）

79,015千円（税抜き）

(2) 実施経費については、初年度である平成25年度支出額（63,000千円）

に初度経費が含まれており、平成26年度実績額及び27年度支出予定額

が

同額（58,500千円）となることから、3カ年分の平均額とする。

$(63,000 \text{ 千円} + 58,500 \text{ 千円} \times 2) \div 3 = 60,000 \text{ 千円}$ （税抜き）

2. 経費削減効果

市場化テスト導入前の平成24年度と導入後の平成25年度の経費を具体的に比較すると、削減額は19,015千円となり、市場化テスト導入の結果24.1%の削減効果があった。

IV 評価のまとめ

上記、Ⅱ．Ⅲ．のとおり本業務の実施に当たり確保されるべき質として設定された「サービスの質を確保すべき事項」及び「最低限満たすべき水準」については、全て達成されている。実施経費は、本業務について比較すると民間競争入札前の従来の経費に比べ、単年度で19,015千円(△24.1%)の削減を達成しており、確実に成果が出ている。

また教育についても、最新情勢の教育への活用及び外国の専門講師による実践的な教育等、被教育者の修学意欲を向上させる内容となっている。

V 今後の事業

1. 本事業の市場化テストの実施状況は以下のとおりである。

- (1) 実施期間中に受託事業者業務改善指示等を受けた、ないし業務にかかる法令違反等をした実績はなかった。
- (2) 内閣官房には、外部有識者(弁護士、大学教授、公認会計士等)で構成された「入札等監視委員会」という、入札及び契約の過程並びに契約の内容の透明性を確保するために設置された委員会があり、当該委員会は、原則として、年に4回開催し、入札及び契約手続きの運用状況等について報告を受けるとともに、契約のうち委員会が抽出したのものに関し、契約方式の決定方法、一般競争入札に係る参加資格の設定理由・入札の経緯等について審議を行っているところであり、かかる枠組みの中で実施状況のチェックを受ける体制が整っている。
- (3) 本事業入札においては2者からの応札があり、競争性は確保されていた。
- (4) 対象公共サービスの確保されるべき質に係る目標についても、達成していた。
- (5) 実施経費については、単年度で19,015千円(△24.1%)となり、経費節減の効果をあげた。

2. 上述のとおり、本事業については市場化テストを終了する基準を満たしており、良好な実施結果を得られていることから、次期事業においては「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に基づく市場化テスト終了プロセスへ移行した上で、市場化テストを終了し、当センターの責任において行うこととしたい。

市場化テスト終了後も、これまで官民競争入札等監理委員会における審議を通じて厳しくチェックされてきた官民の役割分担、公共サービスの質、入札参加資

格、情報開示に関する事項等も勘案し、引き続き法の趣旨を踏まえ、当センター自ら公共サービスの質の向上、コストの削減等を図る努力をしてみたい。

別紙 1

アンケート調査

確保されるべきサービスの質	水準	達成状況	実施対象	適当	普通	不適当
実施期間に対する実施内容の分量等が適当であること ※アンケート項目 ・ 課目の配当時間 ・ 教材の質及び量	「適当である」等の肯定的回答 75%以上 (年度毎)	78.5 % 適	初級第 1 回 (H 2 5)	40.0%	55.0%	5.0%
			初級第 2 回 (H 2 5)	25.0%	37.5%	37.5%
			中級第 1 回 (H 2 5)	39.0%	39.0%	22.0%
		85.7 % 適	初級第 3 回 (H 2 6)	45.0%	40.0%	15.0%
			初級第 4 回 (H 2 6)	30.5%	41.7%	27.8%
			中級第 2 回 (H 2 6)	31.0%	69.0%	0.0%
受講者にとり、教育訓練内容が所定の到達目標の達成に有意義であること ※アンケート項目 ・ 各課目の理解度 ・ 内容の妥当性 ・ 教育の有意義性	「有意義である」「適当である」等の肯定的回答 75%以上 (年度毎)	93.0 % 適	初級第 1 回 (H 2 5)	61.0%	36.0%	3.0%
			初級第 2 回 (H 2 5)	46.0%	43.0%	11.0%
			中級第 1 回 (H 2 5)	63.0%	30.0%	7.0%

		97.5 % 適	初級第3 回（H2 6）	45.7%	50.0%	4.3%
			初級第4 回（H2 6）	57.1%	39.7%	3.2%
			中級第2 回（H2 6）	31.0%	69.0%	0.0%

○ 評価

※アンケート調査においては、教育の目的及び到達目標を示した上で質問しており、その場合「普通」との回答は、それらを普通に達成できた等と判断されることから、これを肯定的回答と評価している。

(ア) 各教育課目の時間数・質・量等に関する肯定的評価が78.0%以上となっており、サービスの質の確保として予め設定した「75%以上」を上回っている。

(イ) 教育内容の理解度・妥当性・有意義性に関する肯定的評価が93.0%以上となっており、サービスの質の確保として予め設定した「75%以上」を上回っている。

受講者（上位80%）の得点状況

平成25年度		業務の内容		履行状況及び評価	
初級 教育 訓練	1回目 (10名)	基礎知識		履行状況 100%	評価（対象者8名：75点以上） 適
		判読訓練		履行状況 100%	評価（対象者8名：65点以上） 適
	2回目 (4名)	基礎知識		履行状況 100%	評価（対象者4名：75点以上） 適
		判読訓練		履行状況 100%	評価（対象者4名：65点以上） 適
中級 教育 訓練	1回目 (14名)	応用判読	A項目 B項目 C項目	履行状況 100%	評価（対象者12名 ：65点以上） 適
平成26年度		業務の内容		履行状況及び評価	
初級 教育 訓練	3回目 (10名)	基礎知識		履行状況 100%	評価（対象者8名：75点以上） 適
		判読訓練		履行状況 100%	評価（対象者8名：65点以上） 適
	4回目 (9名)	基礎知識		履行状況 100%	評価（対象者8名：75点以上） 適
		判読訓練		履行状況 100%	評価（対象者8名：65点以上） 適
中級 教育 訓練	2回目 (13名)	応用判読	A項目 B項目 C項目	履行状況 100%	評価（対象者11名 ：65点以上） 適

○ 評価

- (ア) 初級教育訓練の基礎知識において、受講者上位80%が75点以上獲得することをサービスの質の確保として予め設定していたところ、対象者全員がこれを満たしていた。
- (イ) 初級教育訓練及び中級教育訓練の判読訓練において、受講者上位80%が65点以上獲得することをサービスの質の確保として予め設定していたところ、対象者全員がこれを満たしていた。